

## 目 標

国有林・民有林の伐採箇所を一体的施業としてとらえ、事業ロットの拡大による作業コストの削減、効率的な施業を行うとともに木材の協調出荷による有利販売の効果で利用間伐を拡大する。

## 取組内容

## 結果

### 【合同入札の実施】

共同施業と協調出荷の実施に向けて、積丹町と調整を行い、積丹町有林での間伐等の施業に関する入札の執行を「積丹町長から石狩森林管理署長へ委任する」旨の協定を締結し、合同で入札を行った。

協調出荷を目指して設置した共同土場(ストックヤード)→



- ・ 1回目 令和2年5月入札→不落
- ・ 2回目 令和2年7月公告→不調
- ・ 3回目 令和3年3月入札→不落

※この結果を受けて、町は応札者と随意契約を締結。国有林は令和3年度早期に単独での入札を実施することとなった。

### 【積丹町議会議員の現地見学会の実施】

これまでの取組の経緯や内容について積丹町議会議員に説明し、理解を得る必要があることから、事業概要の説明会を開催することとし、積丹町と調整を進めた。

コロナ禍における感染拡大防止の観点から中止することとなった。

### 【実施結果の公表】

令和2年度「北の国・森林づくり技術交流発表会」において、他地域の森林施業推進協定（共同施業団地）の参考として役立ててもらえるよう、今回の取組み事例を発表するためのポスターの作成を、積丹町、札幌水源林整備事務所と当署の3者で行った。



令和3年2月に開催された発表会においてポスター発表を行った。

## 今年度の総括 次年度の予定

令和2年度は3回の合同入札を行ったがいずれも不落・不調となり、町は応札者と随意契約を締結した。このため当署は令和3年度早期に単独での入札を実施し、実質的な共同施業となるよう町有林と国有林の事業実施時期等の相互調整を図り、協調出荷ができるよう取り組む。

あわせて事業効率やコストへの影響を調査し、令和3年度の技術交流発表会等で公表できるよう取り組む。また、本取組への地域での理解をさらに広めるため今年度コロナ禍の影響で中止した事業概要の説明会等を実施する。